

第Ⅲ章 ゾーニング

1 目的及び考え方

中流部は約 18 キロメートルに及び、法面の形状や護岸の有無、水路の深さ、植生等の自然環境は一様ではありません。そこで今回の改定では、中流部の現況を 3 つの視点により類型化し、一定の区間に区分（ゾーニング）することとしました。

ゾーニングにより現況を類型化することで、ゾーンごとの特徴や課題の傾向を具体的に示し、優先順位をつけながら計画的に法面保護工を施行する等、より効果的に保存整備を進めていきます。

あわせて、ゾーンごとの特徴を踏まえた植生管理を行うことで、生物多様性の保全にも寄与することを目指します。

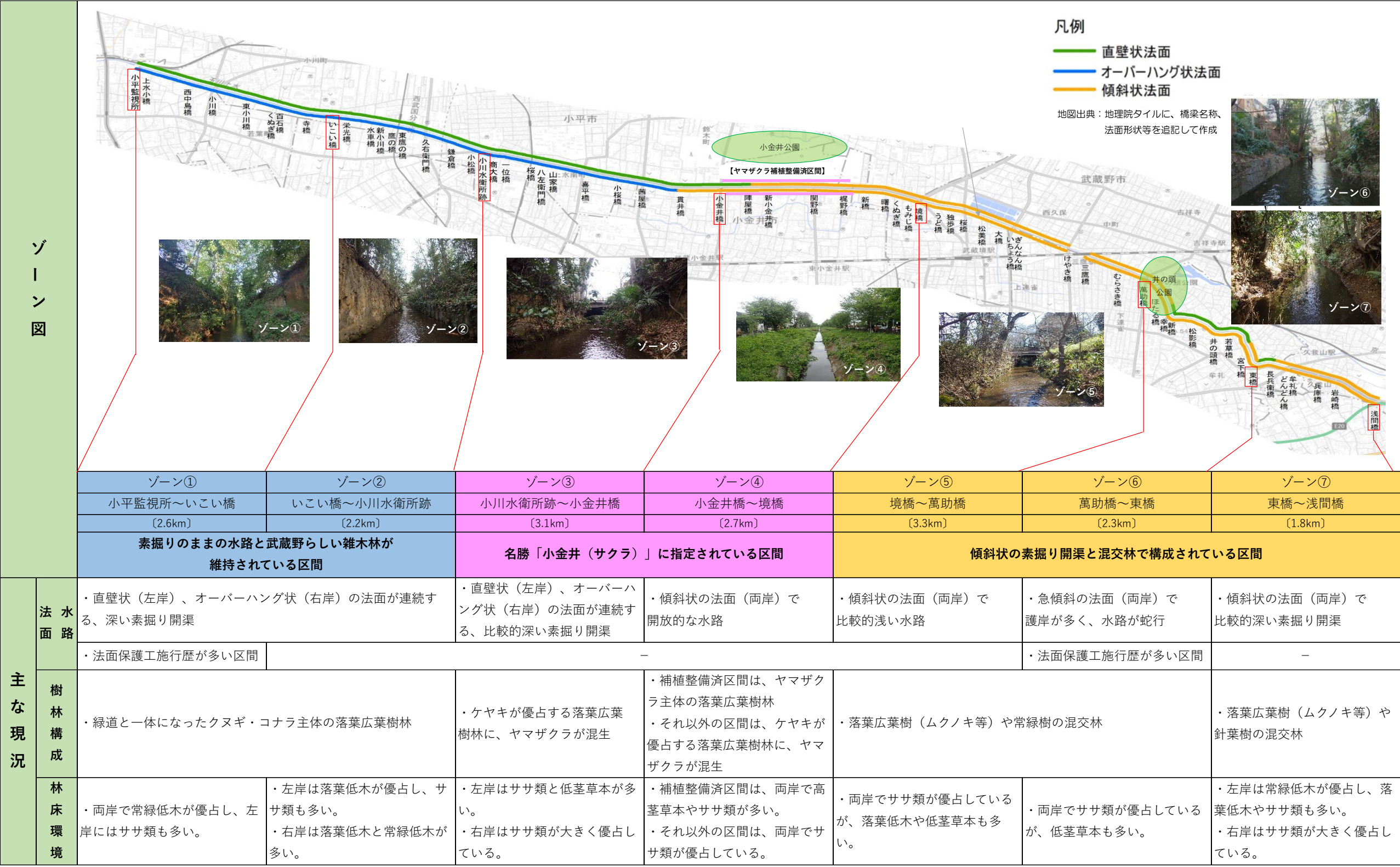
また、ゾーニングにより明らかとなった特徴や課題を地元の自治体や住民等とも共有し、理解を得ながら、史跡・名勝の保全に取り組んでいきます。

表-3 現況を類型化する視点

水路・法面の形状	・ 直壁状／オーバーハング状／傾斜状 ・ 水路深（約 3 ～ 8 メートル）
法面の保全状況	・ 素掘り／（連続的な）護岸 ・ 法面保護工の施行歴
植生等の自然環境	・ 名勝指定区間 ・ 植生等の現況

2 ゾーン区分図

中流部の現況を3つの視点により類型化し、7つのゾーンに区分します。なお、ゾーンごとの保存整備施策及び植生管理の方針については、38 ページに記載しています。



ゾーン①

小平監視所～いこい橋

〔2.6km〕

素掘りのままの水路と武蔵野らしい雑木林が維持されている区間

直壁状（左岸）、オーバーハング状（右岸）の法面が連続する、深い素掘り開渠

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

左岸は落葉低木が優占し、ササ類も多い。

右岸は落葉低木と常緑低木が多い。

ゾーン②

いこい橋～小川水衛所跡

〔2.2km〕

素掘りのままの水路と武蔵野らしい雑木林が維持されている区間

直壁状（左岸）、オーバーハング状（右岸）の法面が連続する、比較的深い素掘り開渠

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

左岸は落葉低木が優占し、ササ類も多い。

右岸は落葉低木と常緑低木が多い。

ゾーン③

小川水衛所跡～小金井橋

〔3.1km〕

名勝「小金井（サクラ）」に指定されている区間

直壁状（左岸）、オーバーハング状（右岸）の法面が連続する、比較的深い素掘り開渠

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

左岸はササ類と低茎草本が多い。

右岸はササ類が大きく優占している。

ゾーン④

小金井橋～境橋

〔2.7km〕

名勝「小金井（サクラ）」に指定されている区間

傾斜状の法面（両岸）で開放的な水路

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

補植整備済区間は、ヤマザクラ主体の落葉広葉樹林

それ以外の区間は、ケヤキが優占する落葉広葉樹林に、ヤマザクラが混生

補植整備済区間は、両岸で高茎草本やササ類が多い。

それ以外の区間は、両岸でササ類が優占している。

ゾーン⑤

境橋～萬助橋

〔3.3km〕

傾斜状の素掘り開渠と混交林で構成されている区間

傾斜状の法面（両岸）で比較的浅い水路

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

落葉広葉樹（ムクノキ等）や常緑樹の混交林

両岸でササ類が優占しているが、落葉低木や低茎草本も多い。

両岸でササ類が優占しているが、低茎草本も多い。

ゾーン⑥

萬助橋～東橋

〔2.3km〕

傾斜状の素掘り開渠と混交林で構成されている区間

急傾斜の法面（両岸）で護岸が多く、水路が蛇行

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

落葉広葉樹（ムクノキ等）や常緑樹の混交林

両岸でササ類が優占しているが、低茎草本も多い。

両岸でササ類が優占しているが、低茎草本も多い。

ゾーン⑦

東橋～浅間橋

〔1.8km〕

傾斜状の素掘り開渠と混交林で構成されている区間

傾斜状の法面（両岸）で比較的深い素掘り開渠

法面保護工施行歴が多い区間

緑道と一体になったクヌギ・コナラ主体の落葉広葉樹林

両岸で常緑低木が優占し、左岸にはササ類も多い。

落葉広葉樹（ムクノキ等）や針葉樹の混交林

左岸は常緑低木が優占し、落葉低木やササ類も多い。

右岸はササ類が大きく優占している。